

能
観世流

善
界

白頭

シテ 林宗一郎

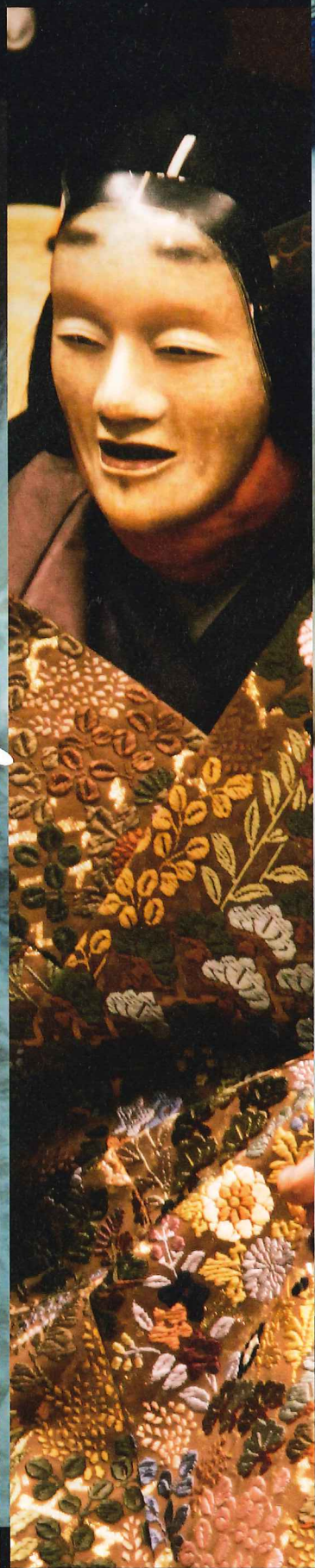
狂言 大蔵流 口真似

シテ 茂山童司

能
宝生流

藤戸

シテ 小倉健太郎



日時:2018年6月12日(火) 18:30開演 17:45開場

*18:00より「能楽ことはじめ」レクチャーあり
講師:小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

札幌市教育文化会館 大ホール

札幌市中央区
北1条西13丁目

【チケット取り扱い】教文プレイガイド 011-271-3355 ほか

【チケット料金】S席 5,500円/A席 3,500円/U-25席 3,000円/自由席(2階後方席) 1,500円

教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」

能は、舞踊と音楽、演劇が一体となった総合芸術です。室町時代、能の作者である世阿弥は、当時流行した「幽玄美」という要素を取り入れてブランド化し、能をヒットさせました。「幽玄」は、音曲や姿かたち、静けさなど、美の要素を重視しています。

今回取り上げるのは、東西で活躍する観世流、宝生流の能楽師。今旬の二人の能楽師の面に映し出された感情や人生観を、どうぞご鑑賞ください。

能 宝生流 藤戸 小倉健太郎

シテ 小倉健太郎
ワキ 則久英志
アイ 茂山 茂
後見 當山孝道
地謡 金井雄資
竹市 學 川瀬隆士
大鼓 竹市 學 小鼓 成田達志
亀井広忠

狂言 大蔵流 口真似

主 太郎冠者 茂山童司
客 主人 茂山 茂
茂山逸平

能 観世流 善界 白頭

シテ 林 宗一郎
ワキ 則久英志
アイ 茂山逸平
後見 味方 團
地謡 観世喜正
大鼓 竹市 學
竹市 學 小鼓 成田達志
亀井広忠 太鼓 前川光範

能「藤戸」

小倉健太郎

宝生流の能は地味であり、「藤戸」は私の年代では少し早い気もしますが、流儀で定められた謡、型をしつかり勤め、あまり写実的にならぬよう心持ちを内にとり、皆様がふとした時に、母親の悲哀、漁師の亡霊の型どころを思い出していただけるような舞台を動めたいと思います。



源平合戦が治まった後、藤戸の先陣をつとめた功勞によりこの地を領有することになった佐々木三郎盛綱は、領民どもの訴訟をとり上げようと布令を出します。そこに老女が現れ、合戦で罪科もない我が子が盛綱に刺殺されて、海底に沈められた恨みを申し立てます。ついに盛綱は、馬で通れる浅瀬の場所を浦の男に聞き出し、秘密が洩れぬよう男を海に沈めたことを打ち明けます。そして嘆く母親を慰め、管弦譜を以てその男の霊を弔います。すると男の亡霊が海中から浮き上がり、刺し殺された辛さ・惜しさを訴え、悪霊となって恨みを晴らすとしますが、成佛すると語り、再び水中に姿を没します。

能「善界白頭」

林宗一郎



以前、シテ方五流をくらべる催しを開催したことがございます。私が所属する観世流の特徴は一体何なのかを自分なりに検証してみたい！と思ったからです。そこで感じたことは、「常に時代の最先端でありたい」流儀なのかもしないかと…。私がつとめます「善界」とは中国の天狗の名前です。仏教界を乗っ取り墮落させるために日本へやってきますが、僧正の祈りでも不動明王や神々が現れます。散々に懲らしめられた善界は虚空へ逃げて行くのでした。今回は、近年、流儀の正式な小書になった「白頭」が付きます。「白頭」とはかつらの一種で白色のボーボー髪、劫を経た老体や鬼畜、神体などに用いるので、自然とその動きはドッシリとしたものになります。この小書が付く曲目は他にもございしますが「善界」は重厚さだけではなく、豪快に動き回るのが特徴といえ、今までは違う「白頭」のインパクトを与え、なおかつ天狗の滑稽さを描くものになると思っています。どうぞ最後まで、ゆっくりとご覧ください。

日時：2018年6月12日【火】 18:30開演／17:45開場

上演時間 約3時間
(休憩あり)

【チケット販売開始】2018年4月1日【日】

チケット料金

S席 5,500円／A席 3,500円／U-25席 3,000円
自由席 1,500円

※自由席は2階席後方のお席になります。
※教文ホールメイトは全席指定、S席 5,000円、A席 3,000円。
※U-25席（鑑賞時25歳以下）および教文ホールメイトは、教文プレイガイドのみ取り扱い。
※U-25席購入時には身分証明書をご持参ください。

チケット取扱

教文プレイガイド 011-271-3355
大丸プレイガイド（南1西3）011-221-3900
道新プレイガイド 011-241-3871
チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード 485-506）
ローソンチケット 0570-084-001（Lコード 12548）
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車椅子をご利用の方は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください。

主催／札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団） 共催／北海道新聞社
企画制作／伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（京都芸術センター） 後援／札幌市・札幌市教育委員会

2018年度「教文伝統芸能シリーズ」



★ 2018年 開催スケジュール

- ・文楽セミナー 2018年5月3日（木・祝）
- ・能楽公演「能楽なう」 2018年6月12日（火）
- ・狂言公演 2018年8月31日（金）
9月1日（土）
- ・人形浄瑠璃文楽 2018年10月15日（月）



札幌市教育文化会館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目

札幌市教育文化会館 事業課（第2・4月曜休）

TEL 011-271-5822 WEB www.kyobun.org/



地下鉄 東西線「西11丁目駅」番出口から徒歩5分 市電 「西15丁目」から徒歩10分
JR札幌駅バスターミナルから、中央バス（円山経由小樽行）または
JR北海道バス（小樽行、手稲営業所、手稲山行）に乗り、
「北1条西12丁目」下車徒歩1分



※当会館にはお客様用の駐車場はございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。